

もりさんかくしかくだより



令和3年9月
社会福祉法人 東京児童協会
新宿三つの木保育園もりさんかくしかく
〒160-0015 東京都新宿区大京町29番地
TEL 03-6457-4455 FAX 03-6457-4456
morisankakushikaku@ookinaouchi.com

8月も終わり、季節の移り変わりを感じ始める時期になりました。
感染症状況はまた変わり、緊急事態宣言は9月末まで伸ばすことを検討している状況でまだまだ予断を許さない状況です。皆様のご協力もあり、休園等なく過ごすことができいております。改めて、ご協力いただいていることに感謝申し上げます。
引き続きできる限りの感染対策を行ってまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

言葉遣いを大切に…

幼児クラスの子どもたちに向けて、言葉遣いの話をしています。
現在子どもたちを取り巻く環境として、テレビやネット上で見聞きしたり、道を歩いていても電子看板を見たり、文字を読んだり…様々な言葉に触れる機会があります。
今回子どもたちには“ふわふわ言葉”“ちくちく言葉”の話をしております。
言葉の力を知り、相手の気持ちを知り、理解するのはとても難しいことですが、気づくことができた経験、それを考える経験を積むことで、学び、気づきの芽が育てていけるよう、改めて集まって話す機会に伝えること、トラブルや話し合いの際に伝えること、日々の生活の中での大人の言葉遣いを大切に、子どもたち自身が様々な言葉に触れ、相手の感情に触れ、取舍選択をしていけるよう援助していきたいと思っております。

外遊びの基準に関して

外遊びでは暑さ指数(WBGT)を基準に活動の実施をしてまいりました。
子どもたちの視線の高さに計測器を置き、計測し、外遊び、水遊びを行いました。やはり基準を超えて早い入室になったり、中止するといった日もありました。
実際の数値を見ながら活動を行うことで、子どもたちを見守る一つの基準として考えることができ、安心して活動に取り組むことができました。9月もまだまだ暑いことが予想されます。気温に応じて日程を調整しており、まだ水遊びを終了する日程は未定となっておりますが、子どもたちが残暑を楽しむことができるように計画をしていきたいと思っております。



教育活動の基本



大きなおうちの教育保育活動は、「共有」「遊育」「食育」を基本に行います。
～共有～

「ありがとう」の言葉を大切に、人への愛情と信頼を表現できる子どもを育てる。
家庭の中で失われつつある日本の伝統文化を保育活動に取り込み、地域の人との交流を楽しむことを基本に活動を行っております。

人と人との関わりは、日々変化があります。様々な変化の中で一人ひとりが感じ、経験を自分のものにしてほしいと願っています。





行事予定

| 日にち | 行事 | 対象 | 日にち | 行事 | 対象 |
|------------|----|----|------------------|----|----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ○講師を招いての活動 | | | ○19日(火)芋ほり遠足について | | |

お知らせ

・アタマジラミに関して

発生しやすくなる時期となりました。発生は確認していませんが、発見後の早い対応が必要です。詳細は保健だよりにてお知らせしております。集団生活の中ですので、発見の際はできるだけ早くお知らせください。髪の毛の長いお子様に関しては、できる限り髪を束ねての登園をお願いいたします。

・今後のドアの開閉に関して

8月上旬をめぐりにICタグの開閉から顔認証の開閉に切り替えを行ってまいりました。

ICカードに関して返却がまだの方は9月上旬までをお願いいたします。

・幼児クラスのマスクの着用に関して

現在幼児クラスはマスクの着用をしておりますが、気温が上がり子どもたちの様子によってはマスクの着用をなくしていく事も検討しております。その際はまた掲示等でお知らせいたします。

・講師を招いての活動

感染状況を見て、園内での講師を招いての活動の再開を進めていきたいと思っております。

現在の感染状況を鑑みて9月いっぱいの中止を決定しております。

・送迎の方の変更に関して

初めての送迎の方に関しては保護者の方と一度一緒に来ていただき、紹介いただいております。

また、お迎え時には園児名と続柄ではなく、園児名と氏名をインターフォンで伝えていただくようお願いいたします。(祖父母の方、ファミリーサポート、習い事のお迎え等)園児の安全管理徹底のため、ご協力をお願いいたします。



0歳児 あひる

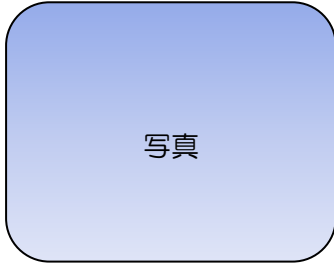
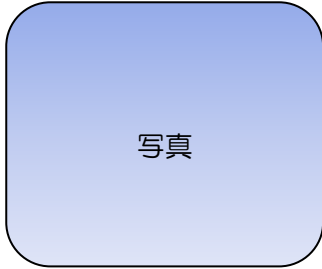


スズランカーテンが揺れ動くカサカサという音や、リズム体操等の音楽が聞こえると腕や体をたくさん動かして喜んでいきます。音や音楽に興味を持っている子どもたちにさらに様々な音に触れてもらいたいと思い、マラカスや鈴などを使って楽器遊びを楽しんでいます。マラカスを持って上下左右に振ったり、鈴の輪を手首に通し腕を振ったりして音を鳴らしています。今後も様々な楽器や音に触れ、楽しく体を動かしていきたいと思えます。

食事では、季節の旬の野菜を取り入れた献立を食べています。手を伸ばして食材に触れる様子や手掴み食べを行う様子が見られています。また、食具に興味のある子は保育者が一口量掬った食具を口まで運んでいる様子が見られています。「おいしいね」「かみかみだよ」等と声を掛けながら楽しく食事をするを心掛けています。

<今月の目標>

- ◇夏の疲れや気温の変化に留意し、心身共にゆったりと快適に過ごせるようにする
- ❖個々の発達に合わせた遊びを行う中で楽しさを味わう



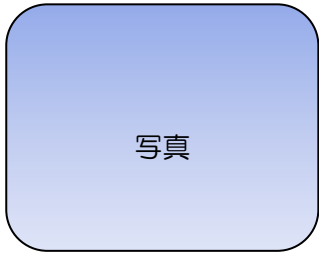
1歳児 うさぎ



暑い日が続いたり、天候が安定しない日がありましたが、戸外では思い切り水や泥に触れ、室内では氷や絵の具、野菜スタンプなど様々な感触遊びを行った8月のうさぎ組でした。初めの頃は水がかかったり泥で汚れたりするのが嫌がる姿も見られましたが、何回か行っていくうちに自ら水に触れたり、汚れない程度に泥を触ったりする姿も増えていました。また、友だちが遊んでいる姿を見て同じように真似する姿も見られています。そんな中で、友だちと同じ玩具で遊ぶ、友だちと一緒にごっこ遊びをする等の関わりが増えてきています。一緒に遊ぶことが出来るようになった嬉しさ楽しさがある反面、場所や玩具の取り合いで悲しさ悔しさという気持ちも経験し始めています。様々な感情を経験出来るような機会を設けていき、子どもたちの豊かな心を育てていくと共に、友だち同士の関わり方や言葉でやり取りする楽しさなども感じられるようにしていきたいと思えます。

<今月の目標>

- ◇一人ひとりの体調を留意し、健康で快適に過ごせるようにする
- ❖全身を使った遊びや一人遊びを十分に集中する



2歳児 ひよこ

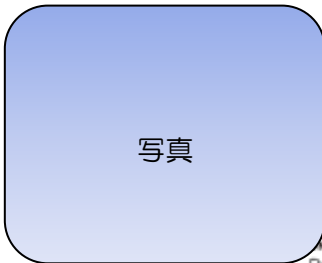


水遊びや泥遊びでは、ホースから出る水の下をくぐってみたり水溜りに葉っぱや玩具を浮かばせたりと友だちや保育者と会話を楽しみながらたくさん水に触れています。「コーヒーです」と泥水を見立ててお店屋さんごっこをする中で、少しずつ玩具の貸し借りが出来るようになり、子どもたちも言葉で伝えられた嬉しさや「できた」の達成感を感じています。

室内では、氷遊びや寒天遊びをしています。風船を割ると出てくる氷に目が釘付けで、両手で氷を持ち「冷たいね!」「中からおさかな出てきたよ」と五感で感じている姿が見られます。食事では全員がフォークを使い始めています。個々に合わせて、3点持ちや下手持ち等持ち方を意識しながら食事をしています。挑戦する気持ちを十分褒めて、子どもたちの自信に繋げていけるよう関わっていきたく思います。

<今月の目標>

- ◇気温差に留意し、健康で快適な生活を送れるようにする
- ❖戸外や散歩を通して身近な自然に親しむ

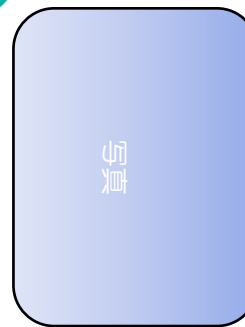


3 歳児・4 歳児・5 歳児 幼児クラス



【水遊び】

子どもたちの大好きな水遊びの季節が始まり「今日は何のクラスが水遊び?」と楽しみに登園してくる姿が多く見られました。昨年に引き続き、感染症対策の為、1人1つのタライを使用し、タライに溜めた水で遊んでいます。はな組は自分のタライの中に水遊び用の玩具を入れて、水の感触や裸足で歩く砂の感触などを楽しむ姿が多く見られました。また、保育者がホースで水を撒くと、その水を自分から浴びて「冷たい!」と全身で水を感じて遊んでいます。ほし組やつき組になると、タライに溜めた水を地面に流して、泥や川を作るなど、更にダイナミックな遊びへと発展しています。「もっとここにも水を流そう」「今、泥でケーキを作っているんだよ」と子どもたちが考え、友だちに伝え合いながら遊ぶ姿が頼もしく見えます。「そっちに水はいらないよ」「ここじゃないよ」等、意見の違いも出てくることもありますが「そしたらどこがいいの?」「こっちにも川を流したいんだよね」とお互いに気持ちを伝えていくことで、より楽しい水遊びになることも感じているようです。残り少ない水遊びとなりますが、子どもたちとアイデアを出し合いながら楽しんでいきたいと思ひます。



【自然と遊ぶ】

もりっこ広場では、虫探しに夢中になっています。落ち葉や石をどけると、ミミズやダンゴムシがいること、テントウムシがよくいる植物があることなど、こどもたちはよく知っていて、友だち同士教え合いながら虫を探しています。また、つき組になると虫取り網を使って、蝶々などの飛んでいる昆虫を捕まえて観察しています。

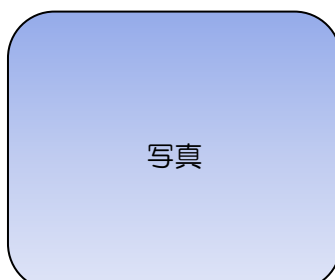
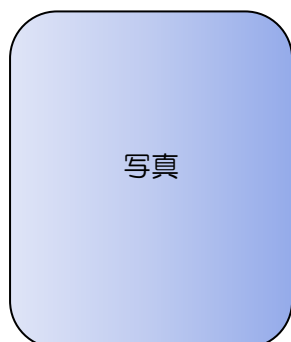
「先生! ミミズがウニョウニョ動いているよ」「こっちに蛭みたいな色の虫がいるよ」などと発見したことを保育者や友だちに伝え、それを聞いた子どもたちも「え? どこにいるの?」「ぼくが捕まえてみるよ」「こっちのミミズはじっとしてるよ」と多くのやり取りをしながら自然と関わることを楽しんでいます。名前わからない虫を見つくと「先生、虫の図鑑持ってきていい?」と保育室内に図鑑を取りにいき調べることも多く、子どもたちの探求心は深まっています。これから秋へと季節が移り変わっていく中で、また新たな発見を楽しんでいきたいと思ひます。



【カードゲーム】

今、室内の遊びではカードゲームの人气が高まっています。つき組がUNOに夢中になったことがきっかけで、ほし組みやはな組も『カードゲームって面白そう』『一緒にやってみよう』という気持ちが強くなっています。つき組と一緒にほし組がUNOに参加したり、はな組は野菜の絵合わせのカードゲームに挑戦したりと新しい遊びに挑戦する姿が増えてきました。また、字を読むことが得意な子がカルタの文を読んで、友だち同士でカルタ取りを行う中で文字を教え合う姿が見られたり、UNOをつき組と一緒に行うことで、数字に興味を持つ子が増えたりとカードゲームを通してたくさんの学びが見られます。

これを機に、様々なカードゲームを用意し、保育者も含めて子どもたちと一緒に新たな遊びを楽しんでいきたいと思ひています。



＜今月の目標＞

3 歳

◇生活リズムを整え、安定した生活を送れるようにする

❖生活や遊びのルールを守りながら友だちと一緒に同じことをする楽しさを味わう

4 歳

◇互いの気持ちを認め合い、安心して過ごせるようにする

❖生活の流れを感じ取り、見通しを持って生活に必要なことを自分でしようとする

5 歳

◇保育者に見守られることで様々な活動に意欲的に参加し自信を持てるようにする

❖互いの気持ちを認め合いながら関わりを深める



まだまだ残暑が続きますが、いくぶん過ごしやすい日が増えてきました。夏の疲れが出やすくなる時期です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとり体調を崩さないよう気をつけましょう。

9月の目標

夏の疲れを残さず身体のリズムを整える

子どもの睡眠について

9月の目標の「身体のリズムを整える」とあります。その中でも「睡眠」はとても大切です。昔から「寝る子は育つ」と言われているとおり、子どもの成長と睡眠は深い関係があります。睡眠の働きの中でも特に重要な「成長ホルモン」の分泌があります。その他にも「メラトニン」「体温」があります。子どもの健やかな発達と健康を促すためにリズムある生活習慣にしましょう。



〈睡眠に関する働きのホルモンと体温〉

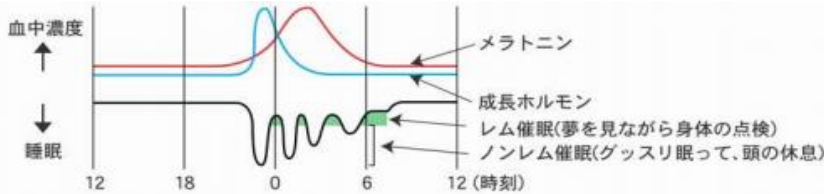
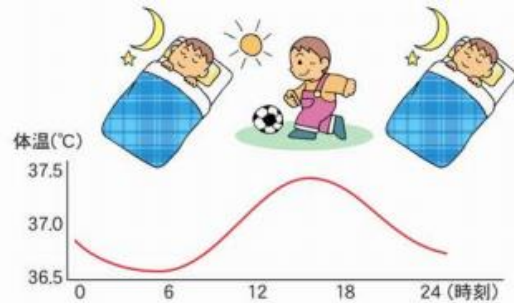
| 名前 | リズム | 主な役割 | 備考 |
|--------|---|--|---------------------------------|
| 成長ホルモン | 寝始めの深い睡眠の時に分泌のピーク | 身体の成長を促し脂肪を分解する。身体、脳の疲労を修復する | 昼夜のリズムができてくる生後4ヶ月頃から夜間睡眠時に分泌される |
| メラトニン | 夕方暗くなる頃から分泌され身体に眠りの準備をさせる。深夜にピーク | 脳からメラトニンという睡眠ホルモンが分泌される。体温が下がりスムーズな入眠が促される | 幼児期が最も多く分泌。夜に強烈な光を浴びると分泌がおくれる |
| 体温 | 明け方安静にしている状態が一番低く（基礎体温）起床とともに上昇し、午後がピークで夜寝る前に下がるリズム | 脳と体を活発に動かす | メラトニンが分泌されると体温が下がりスムーズな入眠が促される |

〈規則正しい睡眠覚醒リズムを作るには？〉

- ① 就寝時刻をなるべく一定にする
- ② 就寝前は心身ともにリラックスする
- ③ 夜遅くまで明るい光を浴びない（照明は暗く）
- ④ 目覚めをよくするには起床時刻を一定にする
- ⑤ 起床直後に太陽の光を浴びる（カーテンを開ける）
- ⑥ 朝食をしっかりとる

大人も子どもも健康的な睡眠をとれるようにしましょう。

「日本小児保健協会」より引用



「第6回睡眠の基礎知識 一般社団法人日本看護学校協議会共済会」より引用

9月9日は救急の日

〈救急処置について・・・「RICE」について〉
 一般的なけがの応急処置の基本として誰にでもできる処置方法です。医療機関にかかる前に行う応急処置の第一段階のものです。内出血や腫れを抑え、治療を軽減したりする効果が期待できます。

| | |
|--|--|
| <p>R Rest 安静を保つ</p> <p>動き回らず静かにしておく、または患部が動かないようにします。</p> | <p>I Ice 患部を冷やす</p> <p>お菓子の保冷剤などをタオルに包んで、出血部位を冷やします。</p> |
| <p>C Compression 患部を圧迫する</p> <p>出血部位を清潔な布で押さえ止血します。関節内出血では、包帯やリポーターなどを使って、出血した部位を押さえます。</p> | <p>E Elevation 患部を心臓より高い位置に保つ</p> <p>下肢のときは、寝かせて台の上に足をのせます。</p> |

8月の感染症

・突発性発疹 1名
 日頃より感染症拡大防止にご協力頂きありがとうございます。

食育だより

～きれいに食べよう～

園での食事にも慣れ、食べることに意欲的な姿が見られるようになってきました。今月は、きれいに食べることや正しい食事マナー、食事の後片付けが身に付くように、食事中だけでなく、日常生活の中でも考えられる時間を設けています。

自分の喫食量を知る



自分で食べられる量を考え、完食することで達成感に繋がります。様々な種類の食材をバランスよく食べることの大切さも伝えていきます。

食後のテーブルをふりかえる

3～5歳児を対象に、自分の使った場所は自分で綺麗にする習慣を身に付けられるよう、各テーブルに台布巾や紙ナプキンを用意しています。テーブルの下まで確認してからごちそうさまが出来るように声を掛けています。

正しい食具の使用



指先の発達を促す遊びを通して、スプーンや箸の持ち方を学んでいます。

食具の持ち方が安定することで、お皿に残った食材をきれいに集めて、食べ残しが無くなっていきます。特に乳児は、食器の縁が立ち上がったものを使用し、器に手を添えて食べることを伝え、子ども自身で食べられるように工夫します。

2～3歳頃になると、手首の返しがしなやかになり、上手持ちから下手3点持ちになっていきます。

幼児はスプーンの3点持ちが安定してきた子どもから、箸の移行を進めていきます。



～お彼岸～



秋のお彼岸は秋分の日（9月23日）をはさんで前後3日間です。祝日法により秋分の日は、「祖先を敬い、亡くなった人々をしのぶ日」と定められています。お彼岸は仏教行事の一つで日本独自の行事です。日本では仏教が広まる前から、お彼岸の時期に祖先や自然に感謝する習慣があります。

おはぎに使用する小豆は秋頃に収穫されるため、収穫してすぐの小豆を使用して作られます。皮も柔らかく、香りもよいので、粒をいかして粒あんで食べます。園では、手作りのあんこを使用し、甘さ控えめで提供します。

【分量】 幼児1人分

鶏もも肉 40g 片栗粉 10g 茄子 10g 人参 15g 大根 10g オクラ 5g

調味液：だし汁 10g 醤油 3g 酒 3g みりん 3g

【作り方】

- ① 鶏肉に片栗粉をまぶしてフライパンで焼く
- ② ①と人参を調味液で煮る
- ③ 茄子を加えて煮る
- ④ 大根おろしを加えてひと煮たちしたら火を止める
- ⑤ 下茹でしたオクラを散らして出来上がり

～鶏肉と茄子のみぞれ煮～

